

芦安小中学校 学校関係者評価書(前期)

令和8年9月3日(木)

芦安中学校区学校運営協議会作成

第1回芦安地区学校関係者評価委員会(第2回芦安中学校区学校運営協議会)

実施日:令和8年9月3日(木)

会場:南アルプス市立芦安中学校 多目的室

〈芦安中学区学校運営協議会委員〉

会長	伊東 隆雅(芦安地区保護司)
副会長	根本 夏美(芦安小中学校PTA会長)
委員	功刀 秀樹(南アルプス市みんなで支える芦安協議会代表)
委員	倉園 光代(主任児童委員)
委員	小林 雅人(元芦安中学校校長)
委員	高畑 英司(芦安窓口サービスセンター長)
委員	内藤 薫(芦安地区育成会代表)
委員	名取 大介(学校応援団コーディネーター)
委員	加賀美裕子(芦安小中学校PTA副会長)
委員	有野 陽祐(芦安地区地域コーディネーター)

〈学校職員〉

小学校	大間 俊男(芦安小校長 芦安地区学校運営協議会委員)
	鶴田 真樹(芦安小教頭)
中学校	竹内 太郎(芦安中校長 芦安地区学校運営協議会委員)
	足達 敏弥(芦安中教頭)

〈助言者〉

南アルプス市教育委員会	内藤 共哉(学校教育課課長)
	上野 中(学校教育課指導監)
	岡田 幸久(学校教育課指導主事)

1. 学校側から提案した内容

- ・ 芦安小中学校前期学校評価結果と今後の学校運営について

2. 検討していただいた主な内容

- ・ 今後の教育活動・運営について

3. 学校関係者評価委員の意見の集約

(1) 学校経営・学校運営

- ・中学生という多感な時期において、先生たちの指導や声掛けなどのおかげで、学校という場所、安心して生活できる場所になっているんだと改めて感じた。
- ・学校全体で児童生徒一人ひとりのことを共有している点についても安心。
- ・芦安地域にはエネルギーがある。良い取組をしている。
- ・芦安郷育についていろいろな事を出しあえる、話し合える場所をつくりたい。(小中に)

(2) 学習指導

- ・少人数だからこそ、話し合い自分から意見を伝える、主体的に行動するということが先生方授業によって実現しているように思う。
- ・学校からの帰路で『今日授業でこんなことを学んだ』、『こう思っていたけれど、こんな考え方もあるという、新しい視点が増えた』など話すことが生徒本人のアウトプットになっている。

(3) 生徒指導

- ・中学校は全校生徒が6人だからこそ集団生活できないのかもしれませんが。20人いたら変わる生徒もいるかもしれない。
- ・よく見て一人ひとりにあった指導をしていると思う。
- ・基本的生活習慣においては、学校というより各家庭の問題だと思う。

(4) 保護者・地域との連携

- ・学校コーディネーターの名取さんはじめ、地域の方のパワーはすごい。ここまで地域の方が一緒に何かをするというのは初めてです。
- ・早急に今後の小中連携を含め、することがたくさんあるため、地域との話し合いは必要だ。

(5) 学校の特色ある取組

- ・芦安小中の特色は、『登山』、『太鼓』ではない。もちろんそれもあるが、生徒と先生の距離感、学校と保護者の距離感、小中学校の距離感だと思う。
- ・先生たちの努力に本当に頭が下がる思いでいる。もっと児童生徒が増えて、この芦安が教師も一緒に成長できるwinwinの関係になるといい。
- ・生徒数減少対策を踏まえ、ゆくゆくは義務教育学校をめざしてはどうか。

(6) その他、気づいた点など

- ・現在の中学2年生の生徒が一人になってしまうかもしれないというあせり、何とかしたいという思いは全員同じだと信じている。今日の話し合いが、机上の空論で終わらないように全力で声を、力を出していく。